

アメリカ・日系企業インターン(無給ボランティア)活動

最初にこのプログラムの作った主旨を聞いてください。アメリカに居る日系人の話からはじまります。カリフォルニアはハワイと並んで、日本人と関係の深い州のひとつです。古くはジョン万次郎、福澤諭吉、勝海舟など、この地を訪れた日本人は多いです。竹久夢二もこの地を訪れています。

明治時代に多くの日本人が新天地を求め、アメリカに移民しました。困難を乗り越え、現地での生活を確立したころ、第二次世界大戦時代が始まり、みなさんは土地や財産を没収され、10か所の強制収容所に收容されることになります。戦後、その地位と名誉を回復しましたが、日本という祖国を背負い、本当に大変な苦労をした時期があります。

2世の人たちは父祖の地としての日本に興味はあるものの、思考や行動はアメリカ的です。でも日本人の親と生地アメリカという2つの文化の間での葛藤がありました。また、アメリカで生まれ、幼少時より日本で教育を受けた後、再びアメリカに戻った人を帰米といいます。心情的にも日本人とほとんどかわらないけれど、彼らのアメリカでの生活もまた2世と同様に苦難を伴う場合が多かったそうです。戦争時代の苦難の時期を乗り越え日系人たちはロサンゼルス地域に根ざしました。この地域は日本人にとって歴史的に重要な背景を持つ場所なのです。

およそ100年前に、大きな夢をいだいてアメリカに渡った日本人の歴史がロサンゼルス日系社会にあります。そんな地域で、貴重な体験をしていただきたい。彼らと同じようなパイオニアの精神を身につけてもらいたい。これが、このプログラムを運営する主旨です。

日系の会社で、スタッフの人たちが英語と日本語を使いこなし、ぱりぱり仕事をしているのを見ることだけでも驚きとともに、感動です。そんな人材になることを目標として、学んでいただきたいと思います。

もちろんアメリカにある日系の企業ですから英語と日本語を使つての仕事になります。自分の経験などをうまく使い、英語にもなれていける環境をもつ日系企業への派遣は良い研修の機会を提供してくれるでしょう。質の高い日本の企業がロサンゼルス周辺に進出しています。



派遣地域はロサンゼルス周辺

他団体のプログラムの場合、派遣される地域が参加直前までわからないことが多いのです。地域を限定しているので、参加前に、その地域に対しての事前準備をしておくのが安心につながります。ロサンゼルス地域は日本人にも一番なじみがあり、生活するにも便利な地域であることは良く知られています。そして、現地コーディネーターがこの街に住んでいますので、緊急の場合のサポートを直接することができるのが利点です。



派遣先例 Torrance (トーランス)

ロサンゼルス国際空港から南に 20 分ほど車で走った地区に位置する都市です。人口は 137,946 人(2000 年国勢調査)で、ロサンゼルス郡(Los Angeles County)で 7 番目の規模です。日系企業が多く日系スーパーも充実 気候が良く、交通の便が良い地区ということもあって、トヨタ自動車やホンダなど、日系企業が多く集まっています。日系の人々も多く住む地域なので、日系のスーパーである「Mitsuwa (ミツワ)」 「Marukai (マルカイ)」等の大型店も多く、日本の商品や食材が簡単に手に入ります。

2000 年に JBA が行った調査によると、日系企業はロサンゼルス(108 社)とトーランス(94 社)が事業を行っています。

希望により、最初の 2 週間程度英語研修をしてからインターンに入ることも可能です。この場合にはトーランスにある語学学校で、最初に勉強します。ホームステイもこの地域でさがしますので、語学研修が終了し、インターン活動を始めた際にも、ファミリーを変わる必要が無い様に考慮して手配します。

プログラム参加の流れ

1) 説明会や個人面談会への参加から面談へ（出発の3ヶ月前）

プログラムが合っているかどうかの確認

アメリカの日系会社でのインターン、そして、この国での暮らしが貴方の希望するものかを確かめるために、東京や大阪、名古屋、福岡などで行っている説明会にご参加ください。CECスタッフとの個人面談を通じて判断できることがあるはずです。

2) 参加をきめたらWEBから参加申込ください。（出発の2ヶ月前）

参加をお決めになったら、まずはプログラム参加申込をしてください。スカイプでコーディネーターと面談していただく手配をします。英語のチェックも行います。話し方、考え方、将来の計画などをお聞きします。コーディネーターとの面接の結果は、CECからご報告します。

3) コーディネーターから受入許可がでたら実際に参加申込に移ります。

もし、英語レベルや、プログラムに対する見解の違いから、コーディネーターから受入ができないと回答があった場合、他のプログラムへの振り替えを行います。もし、参加者がこの時点でキャンセルされる場合には、それまでのCECの手配費用として、申込金20,000円の半額を手数料として申し受け、半額を返金いたします。



プログラム参加費用(1名様から参加可能です)

4週間 278,000円

6週間 325,000円

8週間 373,000円

参加費用に含まれる項目

CEC手配費用

滞在費用(ホームステイ 一泊2食付)

インターン先派遣手配費用

ロサンゼルス国際空港から滞在先までの片道の空港送迎費用

現地コーディネーターによる期間中のサポート

参加費用に含まれないもの

現地までの往復航空券とTAX、燃油サーチャージ、VISA取得費用など
海外旅行傷害保険加入費用
現地での交通費、昼食代金、観光費用なども含まれません。



Q and A

1) 仕事内容はどのようなものでしょうか？

旅行、事務(旅行手配)、歯科技工、ITプログラマー、レストラン(接客/キッチン)、貿易事務、引越業務、ケアホーム、業務(法律事務所)事務(IT関連企業)、スーパーマーケットなど様々です。

2) 仕事は自分で選べるのですか？

残念ながら、短期受入してくれる企業自体が少ないので、みなさんの希望をお聞きし、そのとおりに派遣先を見つけることはできません。どのような職種でも学ぶことは多くありますから、柔軟に何でもやってみる意識をもって参加ください。

3) 仕事における英語と日本語の割合を教えてください。

実際の仕事により異なりますが、およそ半分ずつとなります。参加者の英語レベルにより、任される業務内容がかわります。

申込方法

CECのWEB上で、オンライン申し込みが可能です。3ヶ月程度前にお申しいただくのが理想なのですが、遅くなくても受入できることもありますから、お気軽にお問合せください。

体験談レポート



名前 : **Chifumi Fujimori** さん

私がこのビジネスインターンシッププログラムに参加しようと思ったのは、今後の就職活動に役立てる為、英語のスキルアップにも繋がったのと、アメリカでのビジネスを体験して日本企業との違いを学びながら、ビジネススキルを向上させたいという自分の希望が両方実現できるプログラムだと思ったからです。

現在は、営業アシスタント(見積書・セールスレポートの作製)、電話でのアポ取り、日本企業の会社マニュアル、製品マニュアルなどの英文チェックなどを行っています。

主にデスクワークになりますが、英語を使つての業務も多く、翻訳などの仕事も時々させていただいて、英語の勉強と仕事での経験と両方が体験でき、とても充実した日々を送っています。

休日は、こちらで知り合った友達と、映画やビーチ、ショッピングに行ったりしています。

友達とサンタモニカの **Bar** に行くことが多いのですが、家も、ビーチの近くなのでとても気持ちの良い環境なので、出来るだけ外に出るようにしています。

プログラムが終了し日本に帰国した際には、現在の仕事経験を活かせる、翻訳や通訳などの仕事につきたいと思っています。

ただ、将来的には日本で働きたいと思っていますが、現在のアメリカでの生活がとても充実しているうえ、生活環境はアメリカの方が自分には向いている気がするので、こちらに残って頑張ってみようかなとも思っています。

